

2021 中間研究集会(4/24改訂版)主催：学校体育研究同志会

子どもの「学び」の事実から、教科内容を問い直す

体育は何を教える教科か—この「何を」(＝教科内容)を導き出す視点として、これまで「できる」「わかる」「関わる」や、「3ともモデル」が提起されてきました。しかし、一方で子どもの「学び」の事実から「何を教えるのか・学ぶのか」を子どもとともに問い直そうという主張も見られます。今集会は、子どもの「学び」の事実から教科内容を再構成する可能性について考えます。提案授業は岡崎太郎氏(宮城支部：中学生リレー) 記念講演は石井英真氏、パワーアップ講座は笹田哲平氏です。

★期 日：2021年5月15日(土)～16日(日)

★研究集会：オンラインによる配信(申し込み者に、アドレスを配信)

★提案実践：岡崎太郎氏(宮城支部) 中学生、リレーの授業

岡崎実践の分析と併せて、「教科する」授業像(「教科」)や「トランスサイエンス」(科学に問うことはできるが、科学だけでは答えることができない問題)的な課題を教科内容にする授業のイメージについて黒川哲也氏(福岡・佐賀支部)に語っていただきます。

★基調講演：石井英真氏・京都大学大学院教育学研究科准教授)

『教科する』授業とは何か?—文化の主体的探究者を育てる授業とは—(仮)

子どもの学びの事実は、私たちに教材づくりの質、つまり「学習目標—教科内容—教材」の関係の再吟味を求めており、授業研究もそこまで遡って検証されなければなりません。さらに、この教材づくりや再吟味の過程に子どもを参画させていくことが、子どもの主体的な学びを保障することにつながるのではないのでしょうか。つまり、これまで教師が独占してきた素材研究や教材づくりの「おいしい部分」を子どもにも味わわせることはできないのでしょうか。石井氏は、これを『教科を学ぶ』授業から『教科する』授業へと表現しています。今回は、この「教科する」授業のイメージや、子ども自身が教材の意味を問い直し、文化の主体的探究者になる可能性について講演していただきます。

〈著書〉「今求められる学力と学びとは—コンピテンシー・ベースのカリキュラムの光と影」「時代を拓いた教師たちⅠ・Ⅱ」(以上、日本標準)、「〈新しい能力〉は教育を変えるか—学力・リテラシー・コンピテンシー」「教職実践演習ワークブッカーポートフォリオで教師力アップ—」(以上、ミネルヴァ書房)、「中学校『荒れ』克服10の戦略—本丸は授業改革にあった!」(学事出版)、「新しい教育評価入門—人を育

てる評価のために」(有斐閣)、「授業改善8つのアクション」(東洋館出版社)など。中教審初等教育中等教育分科会教育課程部会委員。

★パワーアップ講座：笹田哲平氏（大阪支部）

「S君との1年～子どもの生活から教材を紡ぐ～」

仮面ライダーが大好きな自閉症のS君。最後の階段を両足で跳び降りる様子から、笹田氏は「これならいけるかも！」と台上から跳び降りる授業を始めます。うまくコミュニケーションが取れないS君への粘り強い働きかけが、最後にとんでもない感動を呼び起こします。2019年夏・冬の全国大会で報告された珠玉の輝きを放つ感動の実践です。いま聞いてほしい実践の1つです。

★参加費：2日参加 2,000円 1日参加 1,000円 [学生は半額]

★日 程

日	9:00	11:00	12:00	13:00	13:30	14:30	16:00	17:00	18:30
15日 (土)		パワーアップ講座 笹田哲平氏		開 会	実践 報告	岡崎実践 検討会		世話 人会 ①	
16日 (日)		記念講演 石井英真氏	世話 人会 ②	問い合わせ：児玉までメール k.nozomu@jcom.home.ne.jp 携帯:090-9813-0378					

9:00 11:30 12:30

★申込み方法：学校体育研究同志会HPから又は、下記から

<https://peatix.com/event/1796184/view>

リンク先のpeatix(ピーティックス)サイトで参加費を払い込みます。参加費を払い込んだ方に、前日までに研究集会のzoomアドレスを、サイトに登録したご自身のアドレスに送信します。

◎参加費納入方法：クレジットカード払い又は、コンビニ払い

(ただし、コンビニ払いは、別途手数料220円)

★申し込み締め切り：5月12日(水) 厳守。

